



Yeti-DNS Project

Tomohiro Ishihara

The University of Tokyo / Yeti-DNS Project

sho@c.u-Tokyo.ac.jp

Yeti-DNS Project

- ルートネームサーバの課題はたくさんある
 - IPv6-only 運用
 - Root の DNSSEC 鍵の roll over(RFC5011)
 - ルートサーバのリナンバリング
 - 今後のスケーラビリティの問題
- 上記全部、ルートネームサーバでいきなり試すのは怖すぎる
 - ラボテストだけでは不十分
- 様々なルートネームサーバの課題を「実環境に近い」世界で検証

重要なこと(1) : Alternative Root ではない

- ネームスペースは触らない
- IANA で配布もしている既存のルートゾーン・arpaゾーンのコピーを利用
 - ルート・arpaゾーンそのものの NS レコード(とグルー)、DNSKEY/RRSIG のみ違う
- 改変されていないかの検証もできます
 - IANA のデータと比較
 - 全レコードをクエリー or NSEC をたどって全レコードを舐める
 - 検証は welcome

重要なこと(2)：実運用に供するものではない

- いろいろアクロバティックなことが適用されます
 - 例えば DNSSEC 検証で軒並み ServFail で引けなくなるということも
- あくまで実験・検証用

現在までの活動

- 2015/3: Yeti ルートサーバの原型が完成
- 2015/5/8: 最初の public announcement、運用開始
 - グルーレコードは IPv6 のみ
 - 毎週 ZSK の更新
- 2015/6/30: Root KSK の Roll Over
 - RFC5011 の検証

プロジェクト活動予定

- プロジェクト期間は3年（～2018年）
 - 期間終了でサービスは止めます
- 得られた知見のフィードバックを行い、終了

現在の参加者

- Beijing Internet Institute (中国)
- WIDE Project (日本)
- TISF (USA)
- AS59715 (イタリア)
- Dahu Group (フランス)
- Bond Internet Systems (スペイン)
- MSK-IX (ロシア)
- CERT Austria (オーストリア)
- ERNET India (インド)

参加者募集

- Yetiルートサーバの管理者として参加
- Yetiルートサーバをルートとするリゾルバ管理者として参加
 - 独自のリゾルバ実装を製品の載せているベンダ
 - ISP の検証用
- (研究者としての参加)
- 詳しくは <http://www.yeti-dns.org/>